

# ナーシング通信

社会福祉法人 東翔会

西水元ナーシングホーム

NO.9 発行 令和元年11月



増田俊一生活相談員（副施設長）

## 生活相談員から見たナーシングホーム

現在の公的介護保険制度が施行されたのが2000年4月。それから1か月後の5月にナーシングホームは開設されました。当初は特養50人、ショートステイ10人の60人定員でスタートしましたが、その後2回の定員変更を経て、現在は特養55人、ショートステイ5人で、定員60人は変更ありません。

介護保険制度とともに歩んできた当施設も、来年20周年を迎えます。

### ●年10人の方をお迎えしています

私が生活相談員として着任して14年弱になります。その間に新たにお迎えした入所者は約150人にのぼります。毎年、約10人の方を新規にお迎えしています。

### ●入所者の平均年齢は85歳

現在の特養入所者の平均年齢は男性81歳、女性87歳、これは直近の日本全体の80歳以上の男女の平均年齢に近いものです。いわば日本の一断面を切り取ったのがナーシングの現在ということになります。

ご利用者の平均在籍期間は3.2年、これは10年前と大きく変わってはいません。平均要介護度は3.9これも同様です。

### ●ほどよい年齢差

常勤、非常勤を含め職員数は介護職を主に60人弱です。シフト制で常時はおおむね半数の職員が介護にあたっています。職員の年齢は20代から70代までで平均年齢50歳半ば。平均年齢80歳半ばのご利用者をケアさせていただいています。

ちょうど親子の年齢差に相当し、良い関係を生み出していると言えます。

今、はやりのレジェンドな施設(?)それが西水元ナーシングホームです。

### 生活相談員のしごと

相談員の仕事内容は、各施設の事情により様々です。言い方を変えるとあらゆることに対応しています。

ナーシングホームでは主にご利用者様の入退所全般を担当しています。

竣工時の建物正面  
モニュメントがありました

## 第1・3水曜日は音楽レクの日

毎月第1・3水曜日の午後は、音楽レクリエーションの日です。講師の松井保子さんには15年以上にわたってご指導を頂いています。

松井さんのピアノ伴奏に合わせて、首や身体の体操、発声練習の後、童謡から民謡、演歌、歌謡曲まで皆さんがご存知の曲を歌います。

大きな声で歌う方から小声の方、あるいは目を閉じて歌を聞かれている方といらっしゃいますが、皆様楽しそうな表情を浮かべています。

「小さい秋見つけた」  
を歌いましょうね。



講師の松井さん



## ご長寿をお祝いする会 9/14

今年は、米寿、喜寿のお祝いが各2人。お祝い品の贈呈の後、弦楽器による演奏、職員の合唱をお楽しみいただきました。昼食は特別メニューのお祝い膳です。



高田施設長からお祝い品贈呈



お祝い品は今治バスタオル



管弦楽の生演奏です



アンコール曲は「男はつらいよ」



皆さま楽しんでいただけましたか



お祝い会の後、ご家族との懇談会も行いました



介護スタッフも「ピクニック」の替え歌でお祝いしました

## ナーシングの屋上

## 季節の花や果実もあります

ナーシングの屋上には、TV 番組「鉄腕！DASH!」のように池はありませんが、四季の花や樹木が育っています。イチジク、ブルーベリー、キウイの果樹木や、また夏にはスイカも育てています。来所された際に屋上を散歩されてみてはいかがでしょうか。



屋上からスカイツリーも見えます



キウイ



イチジク



スイカ



厨房スタッフが早朝から準備しました。お品書きも添えて

### お祝い膳メニュー

- ・赤飯
- ・澄まし汁
- ・天ぷら盛り合わせ
- ・昆布の煮物
- ・卵豆腐
- ・三色なます
- ・巨峰

## されど紙おむつ！ 今やアンダーウェア！！ 使用おむつを全面変更

ナーシングホームでは、紙おむつを従来使用してきた製品から別メーカーのものに変更しました。おむつは多くの入所者の皆さまにとって常時使用するものですから、排せつのためのグッズというよりは、アンダーウェアといえるものです。より快適性が重要となります。尿量により個人差がありますが、1日に基本4回、多い方で6回交換していました。羞恥心の問題や交換時の摩擦による肌トラブルを防ぎ、かつ夜間の安眠確保ためには回数が少ないほうが良いといえます。

一方、回数減は湿潤による不快感や肌トラブル、尿漏れにもつながります。紙おむつの普及により、メーカーも最新技術を取り入れたより高機能製品を開発していま

す。今回の変更にあたって新たな製品で10日間のテスト使用を2度行い検証しました。回数を1回減らしても、より快適性が保てるという結果でした。価格は高くなりますが、回数減によりコストの大きな違いはなく、また回数減によりその時間を他のケアにあてることもできます。

新たなおむつの機能を最大限生かすためにはあて方も重要です。介護職員も新たな気持ちであて方の研修を受け導入への準備をしました。

変更により少しでも皆様にアンダーウェアのように快適に感じていただければ嬉しいです。



職員も新しいオムツのあて方を研修しました